

# 地方創生先行型交付金事業検証用シート

交付金事業名	地域資源を活用した観光振興事業
事業名	⑦ プロジェクションマッピング事業
担当課	観光推進課

## 事業概要

冬季観光の振興、地域経済の活性化を図るため、光のアートであるプロジェクションマッピングを市内2か所で行い、同時に飲食店を巡るスタンプラリーを実施した。

- ・開催日 平成27年11月21日、22日
- ・入込客数 8,500人
- ・開催場所 アートステーショントワダ、十和田市現代美術館

## KPI（重要業績評価指標）の進捗状況

KPI (重要業績評価指標)	平成27年度 目標値	平成27年度 実績値	平成27年度の 進捗状況
年間観光客入込数	290万人	289.7万人	未達成

## 総合戦略上の位置づけ

基本目標	具体的な施策・事業		
1 地域における安定した雇用を創出する	1-3-3 観光客の満足度を高める受け入れ態勢の整備 ・プロジェクションマッピング事業		
総合戦略上のKPI (重要業績評価指標)		現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)
年間観光客入込数		271万人	300万人
年間観光消費額		344億円	380億円

## 先行型交付金事業の進捗の分析・今後の展望

【平成27年度 達成率】99%

【方向性】2日間のイベントで約1千万円という経費を考慮すると、費用対効果の面から事業を継続するのは困難。

●飲食店等が、市のイベントによる集客を活用して、飲食店を周遊させるイベントを併催することで経済効果を創出した。今後、他のイベントにおいても同じようなことが行われるようにお互いに連携していく。

事業名	十和田まちなかプロジェクションマッピング 2015				事業年数	新規 2	○ 継続 年																		
開催日時	平成27年11月21日(土)～22日(日)				入込客数	初日	4,100人																		
開催場所	十和田市現代美術館、AST					2日目	4,400人																		
対象	市民及び観光客				昨年度の参加者数	8,000人																			
					参加者数の目標値	8,000人																			
					前年比	106%																			
実施目的	アートによるまちづくりやイルミネーションなどの「光」をテーマに冬期観光を展開している十和田市として、「プロジェクションマッピング」を実施し、市内外からの誘客を図る。また、実施場所を2箇所とし、併催イベントも実施することで、観光客の滞在時間の延長及び地域経済の活性化を図る。																								
情報提供方法	市広報	○	パンフ・ポスター	○	放送・新聞	○																			
	説明会等		インターネット	○	その他	○																			
連携している団体・課等	公立はこだて未来大学、LIGHTMAN（早稲田大学）																								
事業の概要	<p>昨年度、市制施行10周年記念事業として実施した本事業を引き続き実施した。今年度は記念事業ではなく、イベントとして確立させるため、下記の取り組みを行った。（会場数 H26：3会場、H27：2会場）</p> <p>○市民イラストの募集 昨年度の課題であった「周知不足」の解消と、市民参加型のイベントとするため、実施の3ヶ月前に市民イラストを募集し、約120点の応募があった。映像制作を行った大学と協議し、応募のあった全てのイラストをマッピング映像内に登場させる演出を盛り込んだ。結果、当日は多くの親子連れで賑わった。</p> <p>○映像制作団体の大学生限定化 首都圏を始めとし、マッピングイベントは多く行われており、差別化を図るため、参加団体を大学生に限定した。結果、独創的で親しみやすい作品に仕上がったほか、周知の際に映像制作に関係する学科を有する大学にも案内したところ、趣旨に賛同し、視察に訪れたり、次年度以降に参加の意向を示した大学もあった。</p> <p>○併催イベント（バルフェスタンプラリー）の拡充 夜間のイベントであるため、イベント後の飲食店への周遊が期待できる。本趣旨に賛同する飲食店の有志による「とわだバルフェスタ実行委員会」が今年度から発足し、当日会場内ではカクテルの御振る舞いが行われた。また、スタンプラリー参加店舗数はH26は30店舗だったが、H27は41店舗に増えた。</p>																								
	<table border="1"> <tr> <td>託児サービス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主たる開催曜日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土・日</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>主たる開催時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td></td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td></td> </tr> </table>	託児サービス		主たる開催曜日		平日		土・日	有	主たる開催時間		午前		午後		夜間	○	実施回数							
託児サービス																									
主たる開催曜日																									
平日																									
土・日	有																								
主たる開催時間																									
午前																									
午後																									
夜間	○																								
実施回数																									
成果と課題	<p>○成果 当市の「アート（建物）」や冬期の「光」のイベントを広くPRしつつ、飲食店と協力し、消費額拡大企画も実施でき、官民一体となったイベントとなった。イラストに参加した市民（子ども）からも非常に好評であり、次年度以降も実施してほしいと要望があった。映像制作に携わった学生には、当市の観光資源を知る機会となり、また、2校の大学生同士が繋がるきっかけにもなった。</p> <p>●課題 使用する機材が高価であり、開催にあたり多額の費用を要する。来場者が増加し、路上駐車（特に現美前）が目立ったため、次年度以降は警備員の配置が必要。</p>																								
	係名	観光企画係	担当者	長畑主査																					